

県教育センター「後期・1年研修成果報告会」からの学び

所外研修の第9回目として、3月3日(火)・4日(水)に沖縄県立総合教育センター主催の「後期・1年長期研修成果報告会」に参加しました。

自分の報告に自信と誇りを持ち、堂々と発表する研究員の姿と、研究の視点を明確にしなが、簡潔に、そして明確なプレゼンテーションの資料から多くのことを学んだ、教育研究員でした。

来る3月26日の報告会で、その学びの成果が披露されることを期待しています。

教育研究員の感想(研修日誌から)

沖縄県立総合教育センターの研究報告会に参加させていただきました。私自身の報告会に活かすために、報告者の立ち振る舞いや発表の方法等を中心にみせていただきました。原稿の内容をしっかりと覚え、はっきりとした口調で話されており素晴らしいと思うと同時に、何度も練習を重ねてきた成果であることが感じられました。視線はプレゼンの画面(下方)ばかり見ずに会場全体を見て堂々としていたこと等、参考になることが多くありました。今回の報告会では、理論部分の説明が多く幼稚園では報告時間の半分をテーマ設定理由や理論にあてていました。私達の報告会ではどの部分を中心に発表するのかを考えて発表原稿やプレゼンを構成していきたいと思いました。原稿を作成し覚えて発表できるようにしますが、原稿の内容を一言一句間違えないようにすることばかりを気にするのではなく、話す内容をしっかりと抑え自分の言葉で伝えられるようにしていきたいと思いました。自分の報告会を前に今回の研修に参加できたことは大きな収穫になりました。(稲嶺あゆみ)

沖縄県立総合教育センターの成果報告会に参加しました。発表のしかたを中心に報告を聴きましたが、どの先生も張りのあるはっきりした声で話していたので、聞き取りやすかったです。また発表の内容も覚えており、堂々と発表している様子が見られ、15分間の発表がとても短く感じられました。その他にも目線の位置や話す速さ等、発表する際の参考になるところが多くあったので、自分が発表する時に意識して行いたいと思います。またプレゼンテーションでは、伝えたいことを簡潔に示されていたり、赤字や下線で強調したり等、今後のスライド作成の参考になる部分もあったので、参考にしたいと思います。早めにシナリオとスライドを完成させて、ヒヤリングや講師検討会で見ていただきたいと思います。(安座名有里)

声に自信があり、客席を向いて話が進み、姿勢良く立っていたのに驚きました。どの発表者もぐらぐらせず、声も震えず、客席に目を配りながら、発表しているのを見て、それだけ準備を重ねてきたのだと思いました。これまでの自分の研究に対する気持ちもそうですが、みんなに伝えたいという気持ちが全面に出ていました。プレゼンテーションも、色のコントラストによる強調やアニメーションによる研究の流れ、考え方を流れて表したり、動画を利用して動きをみせることで説明を分かりやすくするなど、工夫が満載でした。その中でも、動画の使い方に興味がありました。体育の投げる動作を言葉で説明するよりも、動画で見せることで納得できました。わずか5秒くらいの動画でも効果があることが分かったので、私のプレゼンにも動画を活用し、見ている方に分かりやすく伝えたいと思いました。(勢理客貴之)

今日の所外研修は報告の内容というよりはプレゼンテーションの方法を学ぶようにとのお話があったので、その部分に注意してもらいました。報告している研究員の方々の声は大きく、はきはきとしていて抑揚もあり聞きやすかったです。顔は基本的に前を見ていて話す内容は頭に入っているようです。話を話していました。話す表情は笑顔で印象もよかったです。皆さんかなり練習したのではないかと思います。ただ、話す内容が多いのか、結構早口な人が多かった気がします。義仁指導主事にそれについて聞いてみたところ「話す内容をまとめてゆっくり話した方がよい」とのことだったので気をつけるようにしたいと思います。研究の内容も特に算数、数学については自分の研究とも重なる所があり、有意義な研修になりました。(比嘉俊雄)

私達より一足早い報告会が開催されたことで、聴く者の立場に立ってプレゼンテーションを参考にすることができたのは大きな収穫でした。15分という制約の中で、1分間で使用するスライドは数えてはみたものの、さすがにスライドの枚数全ては数えられませんでした。説明に使った言葉の数は原稿用紙何枚分に当たるのだろうかと考えました。6名の研修員の発表にはいくつか共通点がありました。場(〜で)・手立て(〜すれば)・児童像(〜になるだろう)の説明をスライドで提示していること、グラフにおける「50ポイントの増加」の「ポイント」という言葉の使用、児童生徒の変容を表すグラフが事前・事後で分かりやすいようにアニメーションをかけて色を塗り替えていることなどです。ある研究員が、研究で工夫した点を数学の問題を例に説明してくれたことで、数学が苦手な私でもよく理解できました。教科や校種が異なっても、伝えたいことが伝えられるのはどんなに満たされた気分になるだろうかと考えました。研修を通して、生徒にまとまりのある英文作りの学習指導を試みましたが、この研究のまとめは、いかに私が「まとまりのある」プレゼンテーションができるかにある気がしています。最善を尽くそうと思います。(古謝栄子)

3月の行事予定

- 3日 ヒヤリング⑧(報告内容)
- 3日 所外研修⑨(小中)
- 4日 所外研修⑨(幼稚園)
- 6日 所長講話⑤
- 10日 クラブ琉舞②
- 11日 所内検討会⑤(報告内容)
- 12日 クラブ書道⑦
- 13日 大切な話⑤
- 18日 報告会リハーサル
- 18日 クラブ琉舞③
- 19日 クラブ三線⑤
- 23日 所長講話(幼稚園)③
- 25日 職務会
- 26日 報告会・後期修了式
- 27日 前期教育研究員オリエンテーション
- 30日 所長講話⑥
- 31日 後期教育研究員退所・離任式